常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市税特別措置条例の一部を改正する条例制定、一般会計補正予算等について

問 固定資産税の課税免除において、過疎法では、製造業だけが課税免除の対象となるのか。また課税免除を行っている企業は何社あるのか。

答 他に旅館業も該当する。課税免除を行っている企業は、現在１社である。

問 課税免除の項目と対象となる資産の価格に条件はあるのか。

答 復興特区の場合、５年度分が免除の対象となり、課税免除の項目は土地、建物及び事業用償却資産であり、業種も幅広く該当となる。また、資産の価格に条件はない。

問 人口減少対策事業の「来てふくしま住宅取得助成金」については、４件分の予算を計上したと説明を受けたが、現時点で申請の見込みはあるのか。また、助成金の上乗せ部分にはそれぞれ条件があるが、その確認はどのようにするのか。

答 現時点で、県外から本市内に転入して住宅を取得するという相談はないが、前年度の実績を踏まえ新築住宅２件と中古住宅購入２件の計４件分の予算を計上した。また、助成金の上乗せ部分の条件確認については、今後示される県の要綱に基づいて実施していく。

机上審査の様子

市民産業常任委員会

一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算について

問 地域担い手育成総合支援事業について、認定農業者育成事業補助金の今年度の要望は何件あったのか、また、補助要望の内容はどのようなものが多かったのか。

答 今年度の事業要望件数は34件あったが、なるべく多くの農家の方に利用いただけるよう、昨年度補助を受けた方を除く等の調整を行ない、30件の要望を採択させていただいた。また、補助要望の内容については、トラクターやコンバイン、田植機等の購入が多かった。

問 国保税の軽減を受ける被保険者数及び世帯数、並びに軽減分の全体に占める割合はどの程度なのか。

答 被保険者数は、７割軽減が2,615名、５割軽減が2,083名、２割軽減が1,761名となっており、軽減を受ける被保険者は全体の50.36パーセントとなっている。また、世帯数は、７割軽減が1,934世帯、５割軽減が1,160世帯、２割軽減が900世帯となっており、軽減を受ける世帯は全体の51.82パーセントとなっている。

問 国民健康保険特別会計補正予算における歳入の中で、子どもの医療費助成支援事業補助金とあるが、これは県で補填するものなのか。

答 子ども医療費助成支援事業補助金については、県独自の補助事業であり、子ども医療費助成事業の実施に伴い、前年度で国の負担金等が減額調整されたもののうち、小学４年生から高校３年生の分について、今年度交付されるものである。

机上審査の様子

議案の審査は、４つの常任委員会に分けて行っています。６月定例会の審査の主な内容をお知らせします。

建設水道常任委員会

一般会計補正予算等について

問 本市では、公園内照明設備のＬＥＤ化等の施設の改修を進めているところであるが、この度の県補助事業採択に伴う市内各公園の施設改修状況はどのようになっているのか。また、今回の改修箇所はどこになるか。

答 今回の福島県自然公園等施設整備補助金については、県立自然公園のみが該当になるものであるため、今回の改修箇所については、霞ヶ城公園内の施設改修であり、照明設備の改修箇所については、霞ヶ城公園内のスポットライト21基、三の丸広場の園路灯３基であり、今回の改修で、霞ヶ城公園内照明設備のＬＥＤ化は全て完了となる。なお、それ以外の公園内については、ＬＥＤ化等の施設改修は行っておらず、従来どおりの施設となっている。

問 社会資本整備総合交付金事業に伴う舗装補修工事において、対象の３路線に対して、どのような基準で予算を割振りしたのか。

答 対象の３路線は、舗装の状況が非常に悪い部分が多くあることから、再度補修箇所を調査・検討し、補修の緊急性の高い箇所から割振りをした。

現地調査の様子（市道作田・北杉田線舗装補修工事）

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算について

問 市内の学童保育を利用している児童数は前年比で何人増えているか。また、学童保育に待機児童はいるのか。

答 学童保育を利用している児童数は、平成29年５月１日現在で639人であり、平成28年度は536人であったので、103人増えている。また、学童保育は申込みがあれば基本的に受け入れており、待機児童はいない。

問 安達生きがいデイサービスセンター指定管理業務委託料の額が、二本松及び岩代と比較してかなり少ないのはなぜか。

答 二本松及び岩代は単独施設として人件費がかかるが、安達は安達保健福祉センター内で、社会福祉協議会が老人デイサービスセンターと併せて同一職員で行っており、老人デイサービス分の人件費が含まれないのが主な理由である。

問 強風により原瀬小学校の太陽光パネルが飛ばされたとのことだが、他の学校の状況はどうか。

答 各校における太陽光パネルの設置個所については、被害等が発生する事のないように施設点検を行っている。原瀬小学校については以前にも同様の被害により修繕した経緯があることから、特に強風が発生しやすい地形に立地している施設なのではないかと考えている。

机上審査の様子